

マナモ種苗の量産技術開発について	
ねらい:	近年価格が急騰したナマコを、アワビ、ウニに続く磯資源として展開する事を目指し、天然資源の有効活用と併せ、人工種苗の量産技術を開発しつつ試験放流による放流事業の経済性を検証するものである。
成果の特徴:	1 基本的にウニ種苗生産技術を応用できる事を証明 2 2ヶ年計画の初年度として、目標の30mm・10万個生産を達成見込み 3 量産にあたっての課題の明確化 ① 安定した受精卵確保及び孵化率向上 ② 採苗稚ナマコの初期生残率向上 ③ 著しい成長差をふまえた棄却サイズの見極め ④ 付着物をふまえた効率的な選別システムの開発 ⑤ 配合餌料にかかるコストと作業量の低減
成果の活用	1 技術開発過程で得られた種苗を県内数カ所に集中放流し、成長・生残・回収率等を検証し、大量生産・放流への移行の可否判断材料とする。 2 (社)岩手県栽培漁業協会の新たな事業対象種として、協会への技術移転を図る。

[具体的データ]

### 稚ナマコ飼育の推移

H20.2.22 現在		実績	目標	達成率(%)
L (26mm~)	個	61,339		
M(15~25mm)	個	75,306		
S (8~14mm)	個	91,340		
【SS(~8mm)】	個	100,000	= 未計数 → 棄却?	
SS 除き合計	個	228,045	—	* SS 除く
生残数	個	—	393,000	60.8
SS 除き生残率	%	12.7	—	* SS 除く
生残率	%	—	47.2	28.2
L構成比	%	26.9		
M構成比	%	33.0		
S構成比	%	40.1		
出荷数	個	0	100,000	0.0



担当者	洋野町駐在 上席専門研究員 山口 仁 Tel0194-65-4750 FAX0194-65-4706
連絡先	〒029-00813 岩手県九戸郡洋野町種市第20地割177番地
ホームページ	<a href="http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/">http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/</a>